

令和8年度 第3回 浜松市中央区協議会西地域分科会

日時：令和8年6月17日（水）

午後1時30分～3時（予定）

会場：西行政センター3階 大会議室

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議事

- （1）【報告事項第1号】令和8年度地域力向上事業の実施予定事業について

☞ 資料 1

5 その他

- （1）令和7年度地域力向上事業の実績報告について

☞ 資料 2

- （2）地域課題について

☞ 資料 A

6 閉会

区 協 議 会

区 分	☐ 諮問事項 ☐ 協議事項 ☒ 報告事項				
件 名	令和 8 年度地域力向上事業の実施予定事業について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	地域力向上事業は、市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、市が実施又は支援する区の特性を活かした事業や課題を解決する事業です。 ・ 市民提案による住みよい地域づくり助成事業 地域の課題を解決したり、地域の魅力を掘り起こしたりする活動に対し、市が費用の一部を助成する制度 ・ 区民活動・文化振興事業 地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業 ・ 区課題解決事業 地域の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業 ・ 協働センター等を核とした地域課題解決事業 支所、協働センター、及びふれあいセンターにおいて、地域の課題を解決するため、地域団体等との協働によって実施する事業				
対象の区協議会	浜松市中央区協議会西地域分科会				
内 容	・ 市民提案による住みよい地域づくり助成事業 5 件 ・ 区民活動・文化振興事業 6 件 ・ 区課題解決事業 2 件 ・ 協働センター等を核とした地域課題解決事業 6 件				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)					
担当課	西行政センター	担当者	大平 哲也	電話	597-1112

浜松市地域力向上事業

市民と市が協働して地域課題の解決や地域の魅力向上を図り、住みよい地域社会を実現するための取り組みです。

対象事業の例

地域コミュニティづくり、安全安心なまちづくり、生活環境の向上、
文化スポーツ・生涯学習の振興、健康・福祉の向上、地域の特性を生かしたまちづくり

A 市民提案による住みよい地域づくり助成事業

地域の課題を解決したり、地域の魅力を掘り起こしたりする活動に対し、市が費用の一部を助成する制度

対象団体：3人以上で構成されるグループや法人

上限額：200万円（予算の範囲内）

補助率：初年度50%以内、2年目40%以内、

3年目25%以内（最大3回まで）

事業例：(R8)河合純一スポーツ庁長官就任記念
映画上映会&トークショー など

B 区民活動・文化振興事業

地域の活性化や文化振興のため市民協働の手法を取り入れて行う事業

事業例：(R8)雄踏歌舞伎保存継承事業 など

C 区課題解決事業

区内の具体的な課題を解決するため市民協働の観点で行う事業

事業例：(R8)西地域交通安全啓発事業 など

D 協働センターを核とした地域課題解決事業

協働センター等を核とした地域課題解決事業

事業例：(R8)入野地区地域防災人材育成事業 など

令和8年度 地域力向上事業実施予定事業

A 市民提案による住みよい地域づくり助成事業			
No.	事業名	申請団体	事業内容
1	河合純一スポーツ庁長官就任記念「夢追いかけて」上映会&トークショー	有志団体「夢追い人ネットワーク」	【時期】 令和8年5月23日（土）～ 令和8年5月24日（日）
			【場所】 舞阪中学校体育館
			【内容】 - 舞阪町出身のパラリンピックメダリストで現スポーツ庁長官の河合純一氏の半生を描いた映画「夢追いかけて」の上映会を実施する。 - 河合氏や映画関係者によるトークショーを行う。
			【予算額】 239千円
2	伊佐見田んぼアート	伊佐見地区コミュニティ協議会	【時期】 令和8年4月1日（水）～ 令和8年12月25日（火）
			【場所】 伊佐見協働センター隣接地
			【内容】 - ナウマンゾウをモチーフとした田んぼアートを実施 - アート案は小学生から募集し、採用者は表彰 - 田んぼアートで収穫したもち米を使い、餅つき体験会、もち米の販売、餅投げ - 刈り取り後の田んぼにレンゲ草の種をまく
			【予算額】 212千円
3	うみいろそらいろ 浜松へちまプロジェクト	浜松へちま・ミライ	【時期】 令和8年4月1日（水）～ 令和9年3月31日（水）
			【場所】 浜松市中央区内全域
			【内容】 へちまの活用を通じて環境意識を高めることを目的とし、高い品質を誇ったへちまを生んだ浜松から再びへちまを普及させるプロジェクト。 - 自宅でへちま栽培ができない方を対象とした、へちま栽培体験会やグリーンカーテン作り体験会の実施 - 各種イベントに出展し、へちま苗やスポンジを配布 - webサイト、SNS、チラシを使った広報活動
			【予算額】 35千円
4	「庄内へちま×和紙」ブランド化の完遂～栽培から試作・施工研究を通じた耕作放棄地活用と成果発表展示会～	庄内半島ドリームプロジェクト「庄内へちま×和紙」実行委員会	【時期】 令和8年4月1日（水）～ 令和9年3月31日（水）
			【場所】 庄内学園・オイスカ高校・庄内協働センター・オイスカ専門学校農地
			【内容】 - へちま和紙の原料となる、へちま、楮、トロロアオイなどの栽培体験 - 学校や公共施設でのへちま和紙作り体験会を実施。加えて、へちま和紙製品を試作する - へちま和紙を壁紙として活用する研究 - これまでの活動で作成したテキスト、生徒から提出されたワークシートをまとめた活動報告書を作成 3年間の事業の成果を児童が発表
			【予算額】 298千円
5	UNIZONE2026 : eモータースポーツを切り口に、普段使っている自動車についてさらに深く学ぼう	株式会社遠州ハマツモーターズ	【時期】 令和8年5月19日（火）～ 令和8年11月25日（火）
			【場所】 イオンモール浜松志都呂 1階セントラルコート
			【内容】 - eモータースポーツ大会の1会場とし、プロ選手によるプレーの披露と、来場者による試合観戦 - 様々なeスポーツを体験できるブースの設置 - eモータースポーツ器具を使った運転トレーニング体験と交通安全啓発
			【予算額】 942千円

B 区民活動・文化振興事業

No.	事業名	所管課	事業内容
1	雄踏歌舞伎 保存継承事業	西行政センター (まちづくり 推進)	【時 期】 令和8年7月～令和9年1月
			【場 所】 雄踏文化センター
			【内 容】 地域に伝わる伝統芸能として住民に親しまれている雄踏歌舞伎「万人講」の普及と保存継承を目的として次の事業を実施 (1) 子供歌舞伎教室の開催 (2) 中央区雄踏町内で開催されるイベントへの参加 (3) 1月中旬に定期公演の開催
			【予算額】 1,600千円
2	重要文化財 「中村家住宅」 活用事業	西行政センター (まちづくり 推進)	【時 期】 (予定) 令和8年10月下旬
			【場 所】 重要文化財 中村家住宅
			【内 容】 西地域内の高校生の部活動の発表の場等として、重要文化財「中村家住宅」を活用する事業。 ・ 高等学校の生徒による部活動の発表 書道展、お茶会、ミニコンサートの開催 ・ 雄踏中学校の生徒による部活動の発表 絵画展、ミニコンサートの開催 ・ 雄踏地区(雄踏町出身)で活動している人や団体の活動紹介 三味線、琴、落語など
			【予算額】 380千円
3	はまなこ 夏フェスタ 開催事業	西行政センター (まちづくり 推進)	【時 期】 (予定) 令和8年7月4日(土)、令和8年7月19日(日)
			【場 所】 弁天島海浜公園、いかり瀬
			【内 容】 舞阪地区の名産品巡りや海洋生物の自然教室など浜名湖の観光資源を活用したイベントに加え、ステージでの音楽演奏など「音楽の都・浜松」にふさわしい観光地の活性化とにぎわい創出を図る。 ・ 吹奏楽団、ライブステージ、創作太鼓、キッズダンス(7月4日) ・ 海浜公園内の安全チェック、海の安全教室(海上保安庁)、ライフセーバーの話しなど(7月19日)
			【予算額】 2,000千円
4	えんばい 朝市 開催事業	舞阪支所	【時 期】 令和8年4月18・19日(土・日)、令和8年6月21日(日)
			【場 所】 弁天島海浜公園
			【内 容】 遠州灘や浜名湖の水産資源を中心とした地場産物をPRするために、朝市を開催し、新鮮な魚介類を中心とした地場産品の販売を行い、地域の活性化を図る。
			【予算額】 1,000千円
5	おいしい舞阪 まるごと 体験フェア 開催事業	舞阪支所	【時 期】 (予定) 令和9年2月7日(日)
			【場 所】 (予定) 浜名湖ガーデンパーク イベント広場
			【内 容】 舞阪地域及び浜名湖周辺の冬の味覚や西地域の豊富な農産物など地場産品の販売及び地元水産業に直接触れ合うことができる体験型イベントを実施 ・ 物販 ・ 牡蠣むき体験
			【予算額】 3,500千円

B 区民活動・文化振興事業			
No.	事業名	所管課	事業内容
6	海の子と山の子の地域間交流事業	西行政センター (庄内協働センター)	【時 期】 令和8年6月～令和9年3月
			【場 所】 庄内地区内及び長野県箕輪町
			【内 容】 長野県箕輪町の子どもと庄内地区の子どもを対象とした交流事業を実施
			【予算額】 311千円

C 区課題解決事業			
No.	事業名	所管課	事業内容
1	西地域交通安全啓発事業	西行政センター (まちづくり推進)	【時 期】 ①令和8年10月16日(金)、②10月23日(金)、③④調整中
			【場 所】 ①交通教育センターレインボー浜名湖、伊佐見協働センター ②交通教育センターレインボー浜名湖、入野協働センター ③④調整中
			【内 容】 高齢者の交通事故削減および防止を目的とし、サボカー体験乗車を含む交通安全教室を実施する。 地域選定高齢者交通安全講習会 4回
			【予算額】 776千円
2	表浜防風林再生事業	舞阪支所	【時 期】 令和8年11月
			【場 所】 舞阪中学校南側に隣接する防風林地内
			【内 容】 草を刈り、土壌改良を行った後に、松くい虫に抵抗性のある松及び広葉樹を植樹する。 (植樹内容) クロマツ35本
			【予算額】 893千円

D 協働センター等を核とした地域課題解決事業			
No.	事業名	所管課	事業内容
1	入野地区地域防災人材育成事業	入野協働センター	【時 期】 令和8年10月から令和8年12月
			【場 所】 入野中学校 ほか
			【内 容】 地域の防災力向上を目的とし、避難所運営を担う地域防災人材育成と自治会の枠を超えた情報共有・連携体制の構築を行う。 ・避難所運営ゲームHUG訓練)実施 ・入野地区内の自主防災隊による情報共有・意見交換
			【予算額】 198千円
2	入野地区伝統の凧揚げ文化を学ぼう	入野協働センター	【時 期】 令和8年10月～令和9年3月
			【場 所】 入野中学校 ほか
			【内 容】 伝統的な凧の歴史学習・製作・凧揚げ等の実施 (1) 凧作り体験講座 時期： 10月～11月 対象： 入野中学校の生徒たち (2) 凧揚げ実践体験 実施： 12月～ 3月 場所： 入野中学校グラウンド
			【予算額】 121千円

D 協働センター等を核とした地域課題解決事業

No.	事業名	所管課	事業内容
3	篠原地区eスポーツ交流会	篠原協働センター	【時 期】 (予定) 令和9年1月
			【場 所】 篠原協働センター ホール
			【内 容】 3世代でチームを組み、リズムゲーム「太鼓の達人」の競技大会を開催し、競技を通じて3世代間で交流を図る。
			【予算額】 200千円
4	「和リンピック2026」開催事業	和地協働センター	【時 期】 (予定) 令和8年10月上旬
			【場 所】 和地協働センター及び和地小学校
			【内 容】 老若男女・障害の有無にかかわらず、全ての人と一緒に楽しめるスポーツであるグランドゴルフやボッチャの大会を開催し、世代や立場を超えた地域の交流を促進する。
			【予算額】 120千円
5	和地コミュニケーション事業～つながる和地グランドマルシェ～	和地協働センター	【時 期】 令和9年1月30日(土)、31日(日)
			【場 所】 和地協働センター
			【内 容】 地域住民が集い交流できるイベント「つながる和地グランドマルシェ」の開催。 (地域団体による演奏、子ども向けイベント、和地カルタ、射的、お茶講座、餅つき、地域団体の活動紹介、リニューアル式典等)
			【予算額】 320千円
6	未来へつなぐ地域間交流冊子プロジェクト	庄内協働センター	【時 期】 令和8年7月～令和9年3月
			【場 所】 庄内地区・長野県箕輪町
			【内 容】 地域間交流のあゆみをまとめ、地元の愛着と誇りを再認識し、未来の後継者を育成するツールとして冊子を制作。 発行部数：700部 頁数：8頁（表紙＋裏表紙＋本編6P）
			【予算額】 237千円

令和 7 年度 地域力向上事業 実績報告

令和 8 年 6 月 1 7 日現在

A 市民提案による住みよい地域づくり助成事業

No.	事業名	所管課	事業内容	
1	地域の子供たちと「庄内へちま×和紙」を通じた交流授業体験と広報	庄内半島ドリームプロジェクト「庄内へちま×和紙」実行委員会	【期 間】	令和7年4月1日（火） ～ 令和8年3月31日（火）
			【場 所】	庄内学園・オイスカ高校・鹿島神社・庄内協働センター・中部協働センター
			【内 容】	地域の子供たちと一緒にへちまで和紙を作るなどの新しい使い方を提案し情報発信。 ・ へちま和紙の材料栽培体験 ・ 和紙作り体験
			【執行額】	434千円
2	中村家住宅でリズムヨガ～世代を越えて仲良く健康に～	子育て支援の会 ひらがなくらぶ	【期 間】	令和7年4月1日（火） ～ 令和8年3月15日（日）
			【場 所】	重要文化財 中村家住宅
			【内 容】	・ 中村家住宅を活用し、参加者同士がペアを組んでヨガを行い、交流するイベントを実施。 ・ 週替わりアクティビティ
			【執行額】	619千円
3	うみいろそらいろ 浜松へちまプロジェクト	浜松へちま・ミライ	【期 間】	令和7年4月1日（火）～令和8年3月30日（月）
			【場 所】	浜松市中央区内全域
			【内 容】	へちまの活用を通じて環境意識を高めることを目的とし、高い品質を誇ったへちまを生んだ浜松から再びへちまを普及させるプロジェクト。 ・ 募集した事業協力者によるへちまグリーンカーテンの設置 ・ へちまスポンジ加工体験 ・ へちまスポンジの普及
			【執行額】	138千円
4	浜名湖クルーズ～船から見る伊佐見と浜名湖の生き物体験事業～	伊佐見地区コミュニティ協議会	【期 間】	令和7年4月1日（火） ～ 令和7年12月31日（水）
			【場 所】	伊佐見湖上～新居弁天海浜公園～ウォット
			【内 容】	・ 小学生を対象とした浜名湖クルージングを実施し、浜名湖の生物や湖上環境を観察 ・ 新居弁天海浜公園岸边にて伊佐見の海面と今切口の海面の違いなど浜名湖の特徴を観察 ・ ウォットにて浜名湖における生物の多様性や特徴についての講義を受講 ・ 「体験会」で学んだことについて感想文（絵日記）の展示会を開催
			【執行額】	96千円

A 市民提案による住みよい地域づくり助成事業				
No.	事業名	所管課	事業内容	
5	伊佐見田んぼアート	伊佐見地区コミュニティ協議会	【期 間】	令和7年4月1日（火） ～ 令和7年12月31日（水）
			【場 所】	伊佐見協働センター隣接地
			【内 容】	・ ナウマンゾウをモチーフとした田んぼアートを実施。 ・ 田んぼアートで収穫したもち米を使い、餅つき体験会を実施。 ・刈り取り後の田んぼにて、れんげ草の種蒔き。
			【執行額】	281千円
6	伊佐見小学校150周年記念事業	浜松市立伊佐見小学校PTA	【期 間】	令和7年4月1日（火） ～ 令和7年9月27日（土）
			【場 所】	浜松市立伊佐見小学校 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）
			【内 容】	・ 伊佐見小学校児童及び伊佐見地区住民を対象とした150周年記念音楽鑑賞会を開催 ・ 小学校正門近くに設置された水車小屋レプリカの改修 ・ 児童の音楽発表会に合わせて記念式典を実施。伊佐見小学校卒業生絵本作家の鈴木のりたけ氏による講演 ・ 児童・教職員による航空写真撮影
			【執行額】	232千円

B 区民活動・文化振興事業				
No.	事業名	所管課	事業内容	
1	伝統文化支援事業	西行政センター（まちづくり推進）	【期 間】	令和7年7月～8月、令和8年1月
			【場 所】	雄踏文化センター
			【内 容】	地域に伝わる伝統芸能として住民に親しまれている雄踏歌舞伎「万人講」の普及と保存継承を目的として次の事業を実施。今年度は「定期公演」が天竜川・浜名湖地域12市町村合併20周年記念事業の事業コンセプト「地域の歴史と文化の継承」に登録。 ・ 幼稚園児、小・中学生を対象とした「子供歌舞伎体験教室」の開催（7月30日、7月31日、8月1日） ・ 「定期公演」の開催（1月18日）
			【執行額】	1,600千円

B 区民活動・文化振興事業

No.	事業名	所管課	事業内容
2	中村家住宅 活用事業	西行政センター (まちづくり 推進)	【開催日】 令和7年10月25日(土)、26日(日)
			【場所】 重要文化財 中村家住宅
			西地域内の中学生・高校生による部活動の発表、音楽コンサート、歴史講座等の場として中村家住宅を活用する事業。 ・ 書道展、絵画展 【内容】 ・ 茶道部によるお茶会 ・ 吹奏楽部や、歌手・ERIKOのミニコンサート ・ 浜松市出身落語家による独演会 ・ 中村家住宅出身の結城秀康に関する歴史講座
			【執行額】 380千円
3	はまなこ 夏フェスタ 開催事業	西行政センター (まちづくり 推進)	【開催日】 令和7年7月5日(土)・7月13日(日)
			【場所】 弁天島海浜公園
			舞阪地区の名産品巡りや海洋生物の自然教室といった浜名湖の観光資源を活用したイベントに加え、ステージでの音楽演奏など「音楽の都・浜松」にふさわしい観光地の活性化とにぎわいを創出。 【内容】 ・ ステージイベント(吹奏楽団、創作太鼓、ライブステージ 外) ・ 体験イベント(海の安全教室、海岸ごみ拾い、救急法 外)
			【執行額】 2,000千円
4	えんばい 朝市 開催事業	舞阪支所	【開催日】 令和7年5月17・18日(土・日)、令和7年6月15日(日)
			【場所】 弁天島海浜公園
			【内容】 遠州灘や浜名湖の水産資源を中心とした地場産品をPRするために朝市を開催し、新鮮な魚介類を中心とした地場産品の販売。
			【執行額】 1,000千円
5	おいしい舞阪 まるごと 体験フェア 開催事業	舞阪支所	【開催日】 令和8年2月1日(日)
			【場所】 浜名湖ガーデンパーク イベント広場
			舞阪地域及び浜名湖周辺の冬の味覚や西地域の豊富な農産物など地場産品の販売及び地元水産業に直接触れ合うことができる体験型イベントを実施。 【内容】 ・ 物販 ・ 牡蠣むき体験や競技
			【執行額】 3,500千円

B 区民活動・文化振興事業			
No.	事業名	所管課	事業内容
6	海の子と山の子の地域間交流事業	西行政センター (庄内協働センター)	【期 間】 令和7年6月～令和8年3月
			【場 所】 庄内地区内及び長野県箕輪町
			【内 容】 長野県箕輪町のこどもと庄内地区のこどもを対象とした交流事業を実施。
			【執行額】 279千円

C 区課題解決事業			
No.	事業名	所管課	事業内容
1	西地域交通安全啓発事業	西行政センター (まちづくり推進)	【開催日】 ①令和7年10月3日（金）、②11月25日（火）
			【場 所】 ①浜松大平台高等学校 ②交通教育センターレインボー浜名湖、神久呂協働センター
			【内 容】 交通事故削減および防止を目的とし、次の啓発事業を実施。 ① 高校生サイクルマナー教室 ② 地域選定高齢者交通安全講習会
			【執行額】 776千円
2	健康寿命延伸啓発事業	中央健康づくりセンター	【期 間】 令和7年4月～令和8年3月
			【場 所】 西行政センター、西地域内協働センター、西地域内はままつ食de元気応援店ほか
			【内 容】 西行政センター市民ホールにて、健康に関する啓発イベントや展示を開催。また、西地域内の協働センターやはままつ食de元気応援店にて、地域と連携した啓発活動を実施。
			【執行額】 99千円
3	表浜防風林再生事業	舞阪支所	【実施日】 令和7年11月15日（土）
			【場 所】 舞阪中学校南側に隣接する防風林地内
			【内 容】 草を刈り、土壌改良を行った後に、松くい虫に抵抗性のある松及び広葉樹を植樹。 (植樹内容) クロマツ35本
			【執行額】 882千円
4	みんなが住みよい西地域啓発事業	西行政センター (地域振興)	【期 間】 令和7年11月～12月
			【場 所】 入野協働センター、神久呂協働センター
			【内 容】 西地域内の協働センターまつりにて、ユニバーサルデザインに関する物品、関連図書、およびピクトグラムクイズを展示し、ユニバーサルデザインに関する情報を提供することで、誰もが使いやすく、生活しやすい社会の重要性について理解を深める。
			【執行額】 31千円

D 協働センター等を核とした地域課題解決事業

No.	事業名	所管課	事業内容	
1	舞阪地区防災マップ作成事業	舞阪支所	【期 間】	令和7年8月8日（金） ～ 令和8年3月8日（日）
			【場 所】	津波避難タワー
			【内 容】	・ 防災マップの作成、全戸配布（A3サイズ両面二つ折り） ・ 防災マップを活用した津波避難訓練の実施
			【執行額】	141千円
2	「入野地区ふるさと歴史マップ」製作発行事業	入野協働センター	【期 間】	令和7年8月1日（金） ～ 令和8年3月31日（火）
			【場 所】	浜松市中央区入野地区内
				・ 入野地区の歴史に関する地域住民からのヒアリングや、歴史拠点の調査 ・ 入野地区に設置されておる愛称標識の説明文、インターネット地図で検索するための二次元コードの作成 ・ 「入野地区愛称標識MAP」の製作、配付
			【執行額】	548千円
3	神久呂地区ボッチャ大会開催事業	神久呂協働センター	【開催日】	令和8年1月24日（土）
			【場 所】	神久呂協働センター 体育館
			【内 容】	・ ボッチャ大会の開催（3人×16チーム） ・ 大会実施と参加者募集の協働センターだよりを地区自治会で世帯回覧、小中学校の児童・生徒に配布
			【執行額】	150千円
4	地域住民と共に行う避難所開設・設営の体験事業	篠原協働センター	【開催日】	令和8年2月22日（日）
			【場 所】	篠原小学校 北側駐車場、体育館
			【内 容】	篠原地区自主防災隊、篠原地区社会福祉協議会、篠原地区民生委員児童委員協議会、篠原小・中地区防災班等による避難所設営訓練等を実施。 ・ マンホールトイレ、段ボールベッド・パーテーションの組立によるプライベートスペース設営 ・ パッククッキングによる炊き出し
			【執行額】	175千円

D 協働センター等を核とした地域課題解決事業

No.	事業名	所管課	事業内容	
5	「和リンピック2025」開催事業	和地協働センター	【開催日】	令和7年9月28日（日）
			【場 所】	和地協働センター及び和地小学校グラウンド
			【内 容】	和地地区の7自治会対抗で下記の3種目のイベントを開催。 ・ ボッチャ（20チーム） ・ グラウンドゴルフ（16チーム） ・ 射的（12チーム）
			【執行額】	200千円
6	つながる和地コミュニティ和地幼稚園記録と記憶の継承事業	和地協働センター	【開催日】	令和7年11月22日（土）
			【場 所】	和地協働センター 体育館
			【内 容】	和地幼稚園の閉園を節目として、65年間にわたり園を支えてきた地域住民・保護者・関係者への感謝を伝える式典を実施。 ・ 園との思い出を綴った動画の制作、視聴、園歌斉唱、写真撮影
			【執行額】	150千円
7	制服のリユースによる和地地区コミュニティ促進事業	和地協働センター	【期 間】	令和7年10月16日（木）～令和8年3月31日（火）
			【場 所】	和地協働センター
			【内 容】	湖東中学校の制服譲渡会を実施 ・ 案内の作成、制服の仕分け・管理保管 ・ 譲渡会の開催
			【執行額】	99千円
8	舞阪地区海苔すき体験事業	舞阪支所	【期 間】	令和8年2月27日（金） ～ 令和8年3月2日（月）
			【場 所】	舞阪小学校
			【内 容】	・ 舞阪地区の海苔養殖の歴史に関する講話 ・ 舞阪小学校児童による海苔すき体験 ・ 乾燥させた海苔の試食体験
			【執行額】	94千円

西地域分科会 地域課題意見一覧表（令和5年度から7年度）

No.	提案年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段 開催日		
				R5	R6	R7
1	5	伊佐見地区遠鉄バス路線の存続について	・地域の皆さんの手でバスのある街を守るため次の事を実施 2023.4.28 佐見線の運航に係る協定書 遠鉄バス 運行期間を2年間継続する 市役所 運行経費の一部負担 地域 利用促進活動 ・アンケート調査、ポスター写真コンクール、促進用無料バスチケット配布（地区自治連予算） ・地域での推進イベント 伊佐見小と伊佐見地区コミュニティ協議会のイベントで移動手段としてバスを利用	⑤ 8/23	⑪ 3/5	
2	5	側溝内の草や泥の整備について	他の地区では自治会主導で指定した日に各個人が家や畑の側溝の泥をかき、そして翌日に市が回収することについて年度初めに要望書を出している。しかし、和地、大山町は側溝については、ほとんど要望書を出していない。側溝に草や泥が詰まっていると、大雨時には水があふれ危険である。	⑨ 12/20		
3	5	どうする 佐鳴湖	・市街地中心部から4kmと近距離で自然に恵まれ西岸に広々とした公園が位置し、ウォーキングコースやマラソン大会が開催されるなど住民の憩いの場となっている。 ・現在では資質は徐々に改善されてきているようです。 ・毎年夏には、地元自治会を中心として企業や商店街や住民の寄付による花火大会が開催され地域の一大イベントとなっています。 ・当面は、地域住民をはじめ活動する団体やグループによる連絡会を結成し、元気な佐鳴湖をみんなで考えていきたい。		④ 8/7	

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
4	5	ゴミ収集システムについて…第2弾	①地域の実態 ・ 各種原因によりゴミ出し困難者の増加 ・ 地区社協家事支援事業の支援員も高齢化してきた ・ 介護保険利用者より利用できないすきまのゴミ出し依頼がケアマネより相談で入ることもある ②地域の課題 ・ 上記の実態を集積場管理の自治会が把握されていない ・ ゴミ出し困難者の声を挙げる場が分からない ・ 助け合いの声出しにくい困り事（生活密着頻度が高く、単発業務でない） ・ 将来的にフレイル高齢者や認知症状の高齢者増加が予測される	⑩ 1/24 ⑪ 2/28		
5	5	ごみ収集所の環境美化と他地区からのごみ持ち込みについて	①ごみ集積所の環境美化 集積所の数カ所にカラス被害対策として飛散防止ネットの外周に鎖（錆びにくいステンレス製）を取付けてカラスがネットに入らないようにしている。効果は出ているが費用が掛かる。 ②他地区（町外者）からのごみの持ち込みについて 市が作成している「ごみの持ち込み禁止」などのポスターを貼っているが、一向に減らない。持ち込みごみはルール違反ばかりである。自治会役員が環境美化推進委員として、ごみ集積所の清掃、監視、パトロールなどを行って何とか集積所の美化を維持しているが、このような負担は軽減していきたい。		⑩ 1/24 ⑪ 2/28	

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
6	5	地域に居住している外国人に対しての自治会活動や地域活動の案内文・お知らせ分作成について	地域では自治会に加入する外国人世帯が増加している。広報「はままつ」は外国語（「英語版」、「ポルトガル語版」、「やさしい日本語版」など）に対応した言語で提供されているが、自治会において自治会加入、自治会費徴収、募金（日赤、赤い羽根、歳末たすけあい等）、防災訓練、地域行事のお知らせ、案内などが必要となっている。各地域でも同様の悩みを抱えている自治会も少なくないのではないか。	⑨ 12/20		
7	5	地域の団体について	地域の団体が消滅しているが、代わりとなる団体が育っていない。		⑤ 9/18	
8	5	公園、広場等整備について	公園、広場等整備されてはいるが、遊んでいる子どもがいない。		⑤ 9/18	
9	5	市立学校・消防団の地元寄付の消費	市立学校・消防団の地元寄付金の消費は財務行為にあたり独断では行えないのでは、という法的疑念がある。	⑫ 3/27	① 5/1 ② 6/5	
10	5	管理困難な土地・家屋等の問題	区内には耕作放棄地・廃屋が少なからずある。			

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
11	5	J R 弁天島駅及 び駅周辺の整備	・ タクシーを送迎レーンで降りて当駅の入口まで約 200m ほとんど雨よけの設置のない歩道を歩く必要がある。 ・ 当駅の入口は 3 段の階段があり荷物についているキャスターは使えない。 ・ 構内にエレベーター・エスカレーターは無く、電車に乗るためには荷物を持ちあげて階段を上げる必要がある。 高齢者や障害のある方が当駅を利用するのは躊躇するし利用できない方も少なからずおられるであろう。観光で弁天島に来られた方々には、先ず当駅に降り立ち、何と冷たい駅であろうかと悪い印象を持たれるであろう。		⑨ 1/8 ⑩ 2/5 ⑪ 3/5	
12	5	自主防災隊の取 り組み	・ 大山町、西大山地区では、世帯台帳が更新されていない。また、安否確認用の黄色い旗があっても一度も訓練されず、桜台地区は黄色い旗もない。 ・ 大山町では世帯台帳は自治会長が保管していますが他の自治会は誰が保管していますか。 ・ 浜松市自主防連合会は各自主防へどの様に取り組内容を促しているのでしょうか。 ・ 浜松市のハザードマップを自身の携帯を見てどう思いましたか。	⑤ 8/23		
13	5	多発する集中豪 雨災害	原因は地球温暖化の影響で、20 世紀以降の 100 年間で、17 cm 上昇しています。さらに海面上昇は続き、日本国土の三分の一は海に飲み込まれ日本は沈没するのを待つだけなのです。		⑨ 1/8	

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
14	5	政令指定都市の中で「浜松市は12年連続交通事故：ワースト1」の汚名返上大作戦	コロナ禍で公共交通でなく、自動車通勤を好む人もいとみられ『運転をするときは十分に気を付けて下さい。』と警察関係者は求めています。 『浜松市民全員で、お先にどうぞの譲り合いで、【ワースト1】から抜けだしましょう』		① 5/1 ② 6/5	
15	5	災害時要支援者の取組みについて	・家族に障がい者や要支援者がいる場合、防災台帳に記載します。うちもそのような家族を持っていますが、今まで災害が起きた時どのように地域と結びついているのか説明を受けたことがない。 ・家族の留守中に災害が起こったときは要支援者の事を早めに気にしてもらいたい、気づいてほしい。他の地域ではどの時点で要支援者に思いを巡らしてもらえるようになっているのでしょうか。その仕組みについて知りたい。	⑤ 8/23 ⑥ 9/27		
16	5	同報無線内容が聞き取りにくい	・アナログ同報無線屋外スピーカーの運用は令和3年3月末以降、順次終了され、デジタル同報無線に移行された。雄踏地区は29か所から9か所になり20か所減った ・個別受信機は、携帯電話を持たない避難行動要支援者等の情報弱者(希望者)に対して貸与することになった。(約3,300台) ・現実には音が小さい、反響する、全然聞こえないなどの声があります。(自宅にいて放送が流れた場合、窓を開けて耳をすましていても聞こえない時もあり) この状況だと日常でも情報が伝わりにくく、また災害時には住民への周知が出来ない。		⑥ 10/2 ⑦ 11/6	

No.	提案年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
17	5	ポッチャを通して、障害者との共生社会を模索してみる	①地域の現状・民生委員 0B としては比較的障害児者を知っているが、一般的には知り得る機会がなく接点が少ない。・ 地区社協活動等でもイベントがあっても参加される方も安全性確保ができない場合が多く全住民向けでも参加困難が現状である。・ 地域の中でも施設や相談所でのイベントの情報も入りにくい。・ 一緒に参画できる試みがなされていないのは何故か。②地域の課題・多様性や共生社会を目指して、を掲げていてもチャレンジできないのは何故なのかを課題として考えたい。・ 互いの気持ちを尊重して話し合うこと（対話すること）ができるように接点がもてることが現状ではない。・ 障害児者の事も知識として知らないことも、安心して接点を持てない課題でもある。	⑥ 9/27 ⑦ 10/11 ⑨ 12/20		
18	5	公立幼稚園の魅力 P R	公立幼稚園に通う園児が年々少なくなり寂しさを感じる。 公立幼稚園の魅力を知ってもらい、働く両親が安心して子供を預けられる園を目指して欲しい。		③ 7/3	
19	6	防災訓練参加者の減少に歯止めを掛けたい	・ 浜松市の防災訓練計画に合わせて、年 3 回の防災訓練、津波避難訓練を実施している。（9 月、12 月、3 月） ・ 過去の地域防災訓練（12 月）の参加者数について毎年減少している。（H26：224 人から毎年減少し R5：70 人） ・ 減少理由は「訓練のマンネリ化」、「訓練の PR 不足」、「住民の高齢化」、「新型コロナウイルス感染症の発生」等が原因か。			④ 7/2

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
20	6	同報無線放送の実態	・ デジタル同報無線に移行され雄踏地区は29 か所から 9 か所になりました。 ・ 個別受信機は、携帯電話を持たない避難行動要支援者等の情報弱者(希望者)に対して貸与することになりました。 ・ 現実には音が小さい、反響する、全然聞こえないなどの声があり、この状況だと日常でも情報が伝わりにくく、また災害時には住民への周知が出来ないのではないか。		⑥ 10/2 ⑦ 11/6	
21	6	町内の防災危険箇所マップ	各世帯には、洪水ハザードマップ・防災マップが配付されていて、各家庭で避難所までの経路を話し合っていると思いますが危険箇所の把握はされていないと思います。 ・ 「自分の命は自分で守る」べく避難経路内のリスク大(建物・ブロック塀・石垣・橋など)の地図上に落とし込むことができるマップの配付が必要です。			② 5/7
22	6	外国人や障がい者との交流について	・ 情報弱者とされる外国人や障がい者は外部の人と交流する機会が少ない。 ・ これらの人たちがうまく交流していくことが、ゴミ問題・自主防災なども一つの手立てになると思う。			① 4/2 ② 5/7
23	6	雑ガミ回収の効率を上げる	背景(根拠) ・ 1人1か月約1キロの雑ガミが燃えるゴミとして出されている。(資源としての認識不足、啓発活動不足) ・ 回収方法・場所が分かりづらく、燃えるゴミにだしても罪悪感が無い。 ・ 解決手段 ① 燃えるゴミへ入れさせない工夫 ② 子ども達から学ぶ分別教育、学校の協力 ③ 個人へ成果が見える化できる工夫 ④ 地域が競争して取り組める工夫			③ 6/4

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
24	6	地域の魅力と地域の課題を語ろう！	・幅広い世代の意見を聞く機会があれば面白く意外性のある成果(課題)が生まれてくるだろう。 ・『地域のもってる良いところ、足りないところ』と、サブタイトルとすれば、課題発掘できるのでないか！			⑦ 10/1
25	6	安否確認について	他自治会の安否確認訓練などの取り組みを提案した。			④ 7/2
26	6	ノーマライゼーションについて	浜松市民が、平穏な生活が実現出来る事が約束され、【ノーマライゼーション】日々平等な生活が出来る、日本一幸福な市を目指しましょう。※【ノーマライゼーションとは】「障害のある方、高齢者といった社会的弱者を特別視することなく、若者、女性、男性も誰もが同じ社会の一員として平等に生活が出来る社会を目指していこうとするもの			⑥ 9/17
27	6	平時における発災前に行う「防災移転」の促進について	・近年、自然災害の激甚化・頻発化とともに、人命に繋がる災害が多発しており、災害ハザードエリアにおける防災・減災対策の重要性が改めて浮き彫りになって来ています。 ・あらかじめ、災害ハザードエリアにおける住宅や施設の立地条件等を踏まえつつ、様々な移転先への候補地を検討し、平時から移転の取り組みを進めていく「防災移転」を進めることが必要。			⑤ 8/6

No.	提案年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
28	6	弁天島海浜公園の再整備について	・ 民間事業者への土地貸付による再整備、管理運営を実施するために、行政財産である弁天島海浜公園の公園としての位置づけを廃止する条例改正を行った。この再整備事業は、浜名湖の自然景観と共に広大な公園用地を一私企業の「ランド」として、今後半世紀近くも、仮に１０年、１５年であっても貸し与えることについて、非常なる違和感を覚える。市は、地域住民や関係団体の要望を集約した再整備のビジョンを示し、指定管理制度等を利用して民間の力を管理運営に活かすべきではないか。 ・ 優先交渉権者の計画には大地震発生時に避難できるタワー等の防災対策が取られていない。利用者が安心して快適に過ごせる公園整備でなければ、観光振興に繋がらない。			
29	6	部活動の地域移行について	・ 本市でも令和８年９月以降は休日の「地域クラブ活動」に移行すると聞いている。自治会を含む地域住民に対して詳細な説明がなされず、不安を覚えている。 ・ 部活動は子供達の成長において大変有意義なものであるであり方が変わるということは、もっと大きな問題として取り扱うべきではないかとも考える。		⑩ 2/5	
30	6	体育館等へのエアコン設置について	・ 篠原地区における小・中学校や協働センターの体育館に空調設備がなく、今後の体育館の利活用について不安を覚えている。 ・ 小・中学校の体育館は、大規模災害時の避難所に指定されていますが、避難生活の負担を少しでも軽減するために空調設備の設置が望ましい。			

No.	提案 年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
31	7	防災備蓄について	市の防災倉庫の備蓄品は決して十分であるとは言えず、自主防災隊でも備蓄を進めています。 舞阪地区などの津波浸水区域の方が高台にある神久呂地区に避難されるケースもあるのではないかと意見もあり、何処まで自主防災隊で備蓄を進めるべきか苦慮している。			⑬ 3/30
32	7	防災機能強化のための護岸改修について	・浜名湖沿いの護岸や道路は、毎年のように陥没や沈下が起こり、その都度改修工事を行っている。 ・舞阪地区では、第一弁天島以外の地域でも護岸の問題を抱えております。 ・道路の陥没を恒久的に防ぐため護岸の抜本的な改修を護岸を管理している静岡県浜松土木事務所に要望書を2回提出しております。【平成30年11月、令和元年9月】			⑧ 11/5
33	7	道路沿いの雑草対策について	県道・市道の道路上にはみ出した雑草、また歩道を覆う雑草がひどく車両走行、歩行に難を感じる。 県道・市道の区分はあるが、是非、是正したい。			⑩ 1/7

No.	提案年度	課 題	内 容	○数字 分科会開催回 下段開催日		
				R5	R6	R7
34	7	公園の利活用について	私たちに一番身近なものは「街区公園」ですが、場所によっては人気がなかったり、雑草が生えていたり、遊具が危険になっていたりということが見受けられます。せっかくの場所が活用されていないのではと心配です。			⑧ 11/5
35	7	崖地に近接する公共施設等の安全性について	入野中学校は、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定されている崖地の上に位置しています。中でも体育館は当該崖地の直上に位置しています。当該崖地はコンクリートの擁壁で固められていないなど十分な対策が取られていないように見受けられることから、大雨や巨大地震により崖が崩れ、中学校の生徒が被災するのではないか、また地域の指定避難所となっている体育館が使用できなくなるのではないかと危惧する声が地域から上がっています。			⑫ 3/4

浜松市中央区協議会
西地域分科会委員 各位

浜松市中央区協議会西地域分科会
会 長 浜 井 卓 男

「地域課題」の募集について

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

これまで、中央区協議会西地域分科会では、委員から「地域課題」を提案していただき意見交換を行ってまいりました。

今年度は、分科会委員の新たな任期の初年度にあたりますが、今後も引き続き意見交換を行いたいと思います。

つきましては、西地域分科会にて意見交換を希望する「地域課題」がございましたら、別紙「『**地域課題**』**提出票**」をご記入いただき、事務局にご提出ください。

記

1 提出期限 8月10日（月）まで

2 提出方法

事務局（西行政センター3階 地域振興グループ）にご提出の他にも
E-mail や FAX などでご提出いただいても構いません。

3 提出件数

各委員から1件とさせていただきます。なお、**提出は任意**です。

4 その他

- ・自分たちの地域にとらわれず地域分科会が積極的な意見交換の場となるような内容（自らの地域だけでなく、他の地域の「まちづくり」の参考になるような内容など）をご検討ください。
- ・地域の課題以外にも委員の所属する団体の課題など広い視点でご検討ください。
- ・いただいた「地域課題」について、すべてを議題として取り上げることができない可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ・記載方法など、ご不明な点がございましたら、下記事務局までお気軽にお問合せください。

（事務局）中央区 西行政センター

担 当：大平・河合

TEL：597－1112

FAX：050－3385－8176

E-mail：w-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

委員氏名 _____

1	「地域課題」 背景を含めて、内容をご記入ください。	
2	他の委員へ依頼したいこと 1 に記載した「地域課題」解決のために意見交換を行う上で、他の委員から提供してもらいたい情報（他地区（団体）の取り組みや実情など）、他の委員に求めたい意見についてご記入ください。	
3	提案など 1 に記載した「地域課題」に係る提案などありましたら、具体的にご記入ください。 <u>空欄でも構いません。</u>	

※ 8 月 1 0 日（月）までにご提出ください。